

ABHISIT VEJJAJIVA

Prime Minister of Thailand (2008-2011)

LONDON
SPEAKER
BUREAU



Abhisit Vejjajivaは44歳でタイの27番目の首相でした。イギリスのニューカッスルで生まれ、オックスフォードの教育を受けた政治家は政治に参加する前にチュラコンクラオ王立陸軍士官学校で学歴を教えていました。

Abhisitは2008年から2011年にかけて首相府を置き、「人々を第一に置く」とことと腐敗防止を中心に展開するプラットフォームを設けました。アビシット政権の成果の中には、無料のヘルスケア、最低賃金の引き上げ、保育園の子供向けの教科書や牛乳などの無料の教育があります。

タイで最も古い政党である民主党の元指導者として、アビシットは30年の経験を持つ熟練した政治家です。

Topics

- Asia
- Government
- Politics

彼の在任中、世界は経済的混乱の真っ只中にあり、当時タイでは多くの国内政治的緊張がありました。これらの課題にも関わらず、アビシット政権は効果的な経済政策を実施し、順調かつ予定通りの刺激策を通じてタイを安定した健全な財政状態に導き、雇用だけでなく競争力の強化にも投資しました経済。さらに、国の外貨準備の増加、債務対GDP比の低下、失業率の低下、および消費者の原油価格の変動から経済を強化しました。

タイは、アビシットが首相であった国での色分けされた政治紛争の中で、2009年に地域グループASEANの議長を務めました。アビシット首相は国際的に高い評価を得ており、2009年に米国ピッツバーグで開催されたG20首脳会議でASEANを代表しました。

アビシットは、2019年の選挙後、国会議員および民主党の党首を辞任し、2017年憲法改正の広く支持された呼びかけを含め、タイの政治で引き続き活動しています。